



編集・発行
熊日湯前・水上販売センター
 (代)小出堅太郎 小出忠紹
 石田敏郎 尾前竜二 那須信一
 球磨郡湯前町中里1830
TEL 43-2151
FAX 49-1726
<http://www.taragi.com/>

第2回水上村桜カップ空手道大会開催!!



(小2・3年基本組手を披露する水上道場の落合祥希選手：写真右)

5月18日に、第2回水上村桜カップ空手道大会(大会名誉会長：廣瀬 親吾 水上村長・大会会長：大石 和教さん)が水上村村民体育館にて開催されました。地元や球磨郡内、遠くは福岡県や熊本市などの園児から中学生まで約80人が出場し、年齢別に型と組手で競い合いました。終始緊迫し、手に汗握る試合が繰り広げられて



(もち空手の林田彩希選手)

いました。小学生団体の部は水上道場、中学生の部はももち空手(福岡県)が優勝しました。大会実行委員長の上村 憲一郎さんは「各道場の交流と選手の技量向上に繋がればと思い、水上村の特別後援の元、始めて2回目になる。空手を通して水上村をどんどんPRして、友好の輪をこれからも広げていきたい」と熱く語って下さいました。

これから3回、4回とこの大会の発展が益々期待されます。

仏教思想を漫才で説く



5月8日に湯前町農村環境改善センターで、ちょっとユニークな漫才・記念講演が行われました。それは同町が開催した生涯学習開校式的一幕で、明導寺住職の藤岡教顕さん(湯前町)と慈願寺住職の那須弘紹さん(多良木町)によるもの。

生涯学習は、1人1人がより充実した人生を送るために、社会の変化に対応する人間形成を目的として開設するという目的があり、その主旨に沿って「余生」について漫才を展開。軽妙なトークの結末として、「余生」は余った生と考えるのではなく、「与生」与えられた生である。与えられた生であるからこそ、今を精一杯生きていかなければならないと仏教思想を説かれました。

また後半の記念講演では「今を生かされて生きる」～笑って味わう仏教～と題して、お二人がそれぞれ講話もされました。同町教育委員長の村井信照さんは「この様な仏教の話はお寺に行かないと聞けないので、勉強になったのでは?これからも色々な機会を提案していきたい」と話されていました。

なお、今年度は歴史探訪教室やカラオケ教室など、16講座208名の登録者が生涯学習教室に参加されます。



(写真左より那須弘紹住職・藤岡教顕住職)



水上村立湯山保育所



きりん組(年長児) 6名 城本 夕子 先生

6月21日の合同運動会に向けて、組体操の練習を頑張っています。皆さん応援して下さい!!

多良木警察署だより

梅雨時期の交通事故防止に努めましょう!!

雨天時は運転中の視界が悪くなります!!

1 歩行者や自転車に注意して運転しましょう



2 道路標識や信号を見落とさないように注意しましょう

3 早めの前照灯点灯を心がけましょう



(原稿提供：多良木警察署)